

札幌学院大学言語学談話会2013年度活動報告

奥田 統己¹

要 旨

札幌学院大学言語学談話会は言語と言語学およびその関連領域をテーマとして、16年間活動を続けてきた研究会である。以下では2013年度の活動報告を行う。

札幌学院大学言語学談話会は、1998年7月に第1回を開催して以来2014年3月の第64回まですでに15年以上にわたり、言語と言語学およびその関連領域をテーマとして活動を続けてきた研究会である。当初は不定期に開催していたが、2009年の第36回からは奇数月末木曜日の定例開催をほぼ維持し、年間6回のペースで開催するようになった。

現在の参加者は本学内にとどまらず周辺諸大学・研究機関にも広がっており、毎回のように大学の枠を超えた研究者・学生間の研究交流が行われている。

今年度からは札幌学院大学総合研究所の特設部会として位置づけられ、正式名称を「札幌学院大学総合研究所言語学談話会」としたうえで従来どおりの活動を続けていく。

2013年度の活動の記録は以下のとおり。

第59回 2013年5月30日（木）

奥田統己（札幌学院大学）

Syllable number orientation and accent orientation in Ainu epic versification

第60回 2013年7月25日（木）

山越康裕（札幌学院大学）

現代モンゴル語の「主題をあらわす小詞」の用法について：文末用法を中心に

第61回 2013年9月26日（木）

早田和弥（札幌学院大学）

苗字・名前ランキング並びに地名データに於ける音韻パターンの選択別

第62回 2013年11月28日（木）

時崎久夫（札幌大学）

強勢と語順の類型論

第63回 2014年1月30日（木）

永山ゆかり（北海道大学）

アリュートル語の複統合性

第64回 2014年3月18日（火）

西出佳代（北海道大学大学院）

西ゲルマン語における補文標識の屈折

¹ 札幌学院大学人文学部；okuda@sgu.ac.jp.

Activity Report of the SGU Linguistics Group 2013

Osami OKUDA¹

Abstract

The SGU Linguistics Group, which was established in July 1998 and held its 64th meeting in March 2014, has been engaged in the study of language, linguistics and related areas for more than fifteen years. From 2009 its regular meetings have been held every two months, six times per year and members gather not only from inside SGU but also from neighboring universities or research institutions. While continuing its regular activities, from this year the group has also been granted the status as a special subcommittee of the Research Institute of Sapporo Gakuin University.

¹ Faculty of Humanities, Sapporo Gakuin University; okuda@sgu.ac.jp.